

# 歴史総合

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
地理歴史科	歴史総合	2	1年	私たちの歴史総合 清水書院	なし

学習目標	歴史全般に興味を持ち、自ら学習を進めることができるようにする。 * 高校地歴科の入門科目として、世界の歴史を学びながら諸地域の特徴や歴史の原理を知る。
学習の進め方	教科書を活用、プリントを使用する。 * プリント及び視聴覚教材による資・史料を使用し、そこから読み取れること、気付きなどをグループワークで共有し、協働的且つ多面的な学習活動を進める。
評価対象・方法	授業の取り組みはもとより、定期テスト、提出物を評価対象とし、総合的に評価する。
受講に向けての心構えと準備	講義で提示される資・史料を積極的に用い、それを理解するだけでなく、そこからどのようなことが考えられるか、その考えたことが適切かどうかを判断できるか、またそれを他者に説明できるか、を1年間通して考え、これらを出来るようにしていく。受動的態度では授業は成立しないため、能動的態度で授業に関わって欲しい。歴史のみならず社会科は単なる暗記ではなく、自ら考えそれを他者と共有するということを実感して欲しい。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	<b>第1編 歴史の扉</b> 歴史とは何か？ 歴史の表し方 <b>第2編 近代化と私たち</b> <b>第1章 第2章 結びつく世界と日本</b> (1) 18世紀までの世界 (2) 工業化と世界市場の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史を学ぶこと、身に付けたい能力、資・史料の読み取りなどについて</li> <li>高校世界史を学習する準備（世界地理、年代の表し方など）</li> <li>日本の歴史の概観（原始～近代の歴史）</li> </ul>	
	中間試験		
	<b>第3章 国民国家と明治維新</b> (1) 国民国家と立憲体制 (2) 帝国主義とアジア、アフリカの変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の明治維新前後の世界の歴史の比較・検討</li> <li>1868年の世界を切り取る…同時代という概念を理解する</li> <li>日本と第一次世界大戦、日本による韓国併合を理解し、同時代の日本の立ち位置の変容と隣国韓国との関係を考察する</li> <li>…日本と相手国の立場の両面から考察</li> </ul>	
	期末試験		
二学期	<b>第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち</b> <b>第1章 第2章 第一次世界大戦と大衆社会</b> (1) 第一次世界大戦と国際社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦の動員、戦場の様子、戦後処理を理解し、戦争と平和について当事者意識をもって考察する</li> <li>…立場による考えの違いを理解経済に注目して戦間期の変遷を理解する</li> </ul>	
	中間試験		
	(2) 1920年代の世界と大衆の時代の到来 <b>第3章 経済危機と第二次世界大戦</b> (1) 国際協調の挫折と2度目の世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>…世界恐慌の発生と影響について、経済的視野をもって歴史を捉える</li> <li>地政学的に戦間期の日本の動向を理解する</li> <li>…地理及び国際関係的視野から歴史を考察する</li> </ul>	
	期末試験		
三学期	(2) 世界大戦がもたらしたものの <b>第4章 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ナショナリズム</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア太平洋戦争を取り上げ、同戦争の「被害」と「加害」の両側面を知り、戦後に生きる者としての在り方を考える</li> <li>…国・立場による考え方の違いを理解</li> </ul>	
	<b>第4編 グローバル化と私たち</b> <b>第1章 第2章 冷戦と世界経済</b> (1) 冷戦と国際政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の世界体制の形成と現在に至るまでの背景を理解する</li> <li>現代社会が抱えている様々な問題について考え、その解決方法を模索する</li> <li>現在につながる冷戦下の日本の立場や世界の動向を学ぶ</li> </ul>	
	学年末試験		